

富士南麓における森林の復元活動

— 2009年の活動報告・2010年活動計画 —

自然再生活動部会／中村華子

当クラブでは2003年から、関東森林管理局静岡森林管理署と「山の自然学クラブ・富士山森の復元活動」という協定を締結して、富士山の国有林で森林復元活動を行っています。2008年6月に5年協定の1期目を終え、協定を更新して2期目に入りました。国有林の協議会への参加も継続し、関係諸団体と連携を取りながら地域全体を見つめた活動を進めていきます。2009年の活動報告と2010年の活動計画について報告いたします。

協定林について

場所：富士山国有林200林班た小班4.56 ha

協定活動内容：「観察・記録・刈り出しなどの手入れを行い、従来の富士山の植生への復元・最善の育林方法の実施を目的とする行動」

「環境教育を目的とした活動」

協定期間：2008年6月－2013年6月（2008年に更新し、2期目）

これまでの活動実績（2009年詳細は次頁に掲載）

2004年度 活動日のべ19日間 参加者数 80人 うち会員39人 非会員41人
----- 活動を本格的に始めて6年目 2009年

2009年度 活動日のべ20日間 参加者数 233人 うち会員40人 非会員193人

○植栽（補植）した苗の本数

2009年の活動では ブナ（実生苗）50本、ミズナラ（実生苗）120本、カラマツ（山取苗）45本、その他広葉樹（山取苗、実生苗）200本を植栽しました

他団体の活動受入実績と予定

<2009年度受入実績>

・NTT労働組合東日本総支部の社会貢献活動

社会貢献活動の一環として自然保護活動を企画。2006年にボランティア推進委員で試行的に実施、2007年以降支部全体の行事として正式に受け入れている。2009年は従来よりも規模を拡大しての実施を希望、5月16日に家族連れを含む85名が参加して植樹活動と観察会を実施（インタープリターの報告参照）。

・ハイキングクラブ四季の記念植樹と観察会

創立30周年記念事業として富士山での植樹を行った。5月23-24日に会長さんを含む11名が参加して、富士山須走口周辺の自然観察会と組み合わせて共催、受け入れをした。

・三井住友銀行ボランティアスタッフ”Yui”

創立10周年記念の行事として富士山での植樹・自然観察会を希望、受け入れした。7月19-20日に東京・大阪を中心に広範囲から家族連れを含む43名が参加して実施（インタープリターの報告参照）。夜はミニトーク＋懇親会も実施。

《2009年活動報告詳細》

日程	開催形態・作業内容	参加人数	内訳	
			会員	一般
3月7日	協議会総会に参加 / 富士市総合庁舎	1	1	0
3月9日	三井住友銀行 打合せ / 三井住友本店にて	1	1	0
4月5日	自然再生活動部会打合せ・作業 / 柿田川春の観察会に参加 ・5月観察会のルート決定、現況調査	3	1	2
4月18日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・5月植樹の準備作業、場所選定 ・山取苗の採集	9	4	5
5月 9-10日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・道具を持参、観察コース確認 (観察会用の資料作成)	3	1	2
5月 16-17日	<山の自然学現地講座> ・実生苗・山取苗を補植 <u>ブナ:30本 ミズナラ:90本 その他広葉樹:120本</u> ・自然観察会(グリーンキャンプ場付近) インプリ活動 NTT 労組東日本総支部の植林ボランティア・自然観察会 85名	97	6	91
5月 23-24日	<山の自然学現地講座> ○記念植樹・山取苗を補植 <u>カラマツ:45本 ヤマハンノキ:30本</u> ○自然観察会:須走口5合目周辺 ハイキングクラブ四季と共催(四季の30周年記念植樹) 11名	20	6	14
7月1日	ユアサ商事 打合せ / ユアサ商事(神田)にて	1	1	0
7月 19-20日	<山の自然学現地講座> ・実生苗・山取苗を補植 <u>ブナ:20本 ミズナラ:30本 その他広葉樹:50本</u> ・自然観察会(西臼塚) インプリ活動 三井住友銀行行員ボランティア"Yui" 植樹と自然観察会 43名	61	9	52
9月 12-13日	自然再生活動部会作業 ・ススキ・低木下刈り、ツル切り作業	11	4	7
10月 17-18日	自然再生活動部会作業 / 樹木種子結実状況の確認と採集 ・ミズナラ、クリを現地苗畑に播種	6	2	4
10月 24-25日	<山の自然学現地講座> 福永健司先生 ・種子採取(協力:東京農業大学治山・緑化学研究室) ※28種の種子を採集、ミズナラ豊作(表下の注記参照)	18	3	15
11月7日	協議会研修会 / 現地検討会とシカ食害対策	2	1	1
	参加人数合計	233	40	193

※2009年採集種子について

アセビ, アブラチャン, イタヤカエデ, イヌザンショウ, エゴノキ, オオモミジ, ガマズミ, ミヤマガマズミ, カマツカ, キハダ, クマシデ, クリ, コクサギ, コブシ, ゴマギ, コマユミ, コミネカエデ, チドリノキ, ツリバナ, ナナカマド, ニシキウツギ, ニシキギ, マユミ, ミズナラ, ミツバウツギ, ミヤマイボタ, ムラサキシキブ, ヤマボウシ 以上28種を採取

2009年の富士山はミズナラが大豊作でした。数だけでなく、堅果が大きく優良な苗木ができることが期待されます。ヤマグリも豊作のようで、今年は麓での熊の被害が少ない秋でした。

ブナは今年、北関東～東北で結実が確認されていますが、富士山ではわずかな量しかありませんでした。

《2010年活動計画》 ※詳しい日程は未定です

これまでに引き続き、年3-4回の現地講座と、1-2月に一度程度の部会活動を予定しています。現地講座では会員以外の方に多く参加していただき、森林再生の活動とともに自然観察会なども行います。また、引き続き各種団体の受入を積極的に行っていきたいと思っております。会員の皆様にご協力いただきこれまでいくつかの団体を受け入れてきておりますが、活動の裾野を広げ、社会的認知を広める意義のあることと考えます。また私たちにとっても、勉強になり、新鮮な気持ちになれる、いい機会であると考えております。今後も会員各位のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

<年間の主な活動内容>

- ・春前 - 芽生えの前に現地へ苗を持っていきます。冬期に荒れた林地の整備と地拵え
- ・春 - 植栽適期です。補植、挿し木などを中心に行います
- ・盛夏 - 梅雨明けからススキ、ササが一気に伸びますので、下刈りを行います
- ・秋 - 種採り、山取苗の採集

シカをはじめとする動物からの被食 ～富士山国有林周辺を中心に

当会の協定林では活動を始めた当初、シカ、イノシシのものと思われる苗木への被害が非常に大きく、活動計画を策定するに当たっては考慮せざるを得ない状況でした。周辺の植林地をよく観察し、被害状況から、苗木が目につく状態では被害が免れないと考え、樹木の周りをあまり切り開かないように、厳に注意していただきながら作業を行いました。

その結果、数年後には多くの苗木が大きな食害にあわずに大きくなって、現状では低木林の様相を呈するようになりました。今後はより一層遷移を進めるため、現在一番優先している陽性の低木類から、森林内の樹種へ切り替えていく作業と、増えてきたササ・木を覆ってしまうツタ（つる）切りが主な作業になってきています。

しかしこのような状況は富士山国有林の中で一般的なものではありません。多くの団体の植林地でシカによる壊滅的な被害が報告されており、様々な対策が行われています。沼津～富士山地域でのシカの生息数は2008年に一万数千頭と報告され、確実に増加しているとのことです。全体的なモニタリングと共に鳥獣保護法の改定やシカに関する知識の普及など、様々な方面からの対策が切望されているところです。

私たちも機会を見つけて他団体の現場や他地域を見学するなど、シカやイノシシに対する知識や経験を積み重ねていきたいと思っております。

Yahoo!ボランティアの寄付増加にご協力お願いします

2007年度からYahoo!の「インターネット募金」に採用いただきました。下記のサイトで富士山森林復元活動への募金を掲載しています。引き続きご協力をお願いします。

<http://volunteer.yahoo.co.jp/donation/index.html>

** 東京農業大学からの協力について **

この活動で採取した種子の多くを、東京農業大学 治山・緑化学研究室にて精選・管理・保存して下さっています。植栽用の苗木も一部お願いしております。そのほか、会の活動全般に関して様々な面でサポートを頂いております。福永先生をはじめとする研究室の皆様の多大なるご協力をここに記し、深く感謝申し上げます。